

# 景況レポート

(3月分・情報連絡員 80名)

## DI値は3カ月連続で上昇するも一部業種を除いて依然厳しい状況

【概況】 3月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが5.1%(前月調査6.3%)、「悪化」が50.0%(同60.0%)で、業界全体のDI値は-44.9となり、前月調査と比較し8.8ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-48.3で前月調査(-56.2)に比べ7.9ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-42.5で前月調査(-52.0)に比べ9.5ポイント上回った。

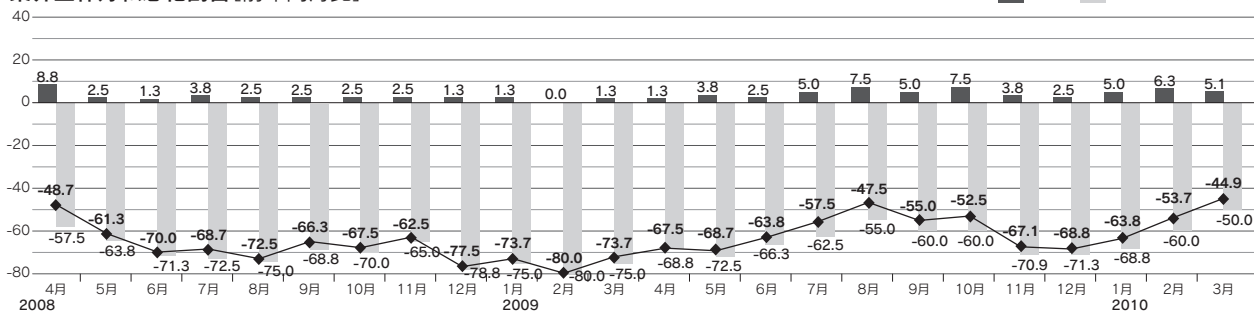
DI値は3カ月連続で上昇したものの、自動車・家電販売以外の業界では、収益の悪化等、依然として厳しい状況が続いているとの声が多く聞かれた。(回答数:78名 回答率:97.5%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️
非製造業	☀️	☀️	☔️	☀️	☀️	☔️

【凡例】  
 ☀️ 快晴 30以上  
 ☀️ 晴れ 10以上 30未満  
 ☁️ 曇り 10以上 30未満  
 ☔️ 雨 10未満 △30超 △10未満  
 ☔️ 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】  
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

菓子製造	春の行事に伴い動きが見られるが、消費者の購買単価は安く抑えられており大幅な売上増には繋がっていない。
清酒製造	2月分の清酒出荷量は1,584 kLで、前年同月比90.3%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で107.1%、純米酒が97.5%、本醸造酒が97.1%、レギュラー酒が87.8%という状況になっている。
乳製品	安価な商品は依然として県外品の流通が増加傾向にあり、厳しい状況である。
繊維・同製品	製品単価が低下し、小ロット・多品種の製品づくりが続き収益が悪化している。前年と比較して総体的に仕事が薄く、大きな景気の回復感はない。
木材・木製品	集成材は低価格のまま推移しており、製材品の動きはまだ悪いものの、原木取扱量は前年を上回り単月では好転した。外材丸太に品薄感があり、製品価格がわずかながら上昇してきている。
印刷	年度末で需要が少し増加傾向になっているが、依然として電子入札等による激しい低価格競争が続き、利益確保の難しい状況が改善する傾向は見られない。
舗装材料	11月の2,785tをピークに3月売上1,600t、4月の受注も1,400t程度であり先行きが不安である。
古紙	3月・4月は古紙の発生期なのに例年の85%程度しか回収されなかった。4月以降価格上昇の動きがあるようなので期待している。
自動車販売	3月の新車販売台数は、登録自動車が3,903台(前年同月比136.0%)、軽自動車が3,032台(同105.8%)で、合計6,935台(同120.9%)であった。登録自動車は9カ月連続して前年同月を上回った。
電機販売	テレビを中心にエコポイント商品の売上が大幅に伸び、売上増に繋がった。
商店街	歓送迎会シーズンにもかかわらず、飲食店・酒類小売ともに前年同月比マイナスで推移した。それ以外の業種についても景気回復感はなく、前年同月比横ばいで推移した。[秋田市] 新入学シーズンを迎えたにもかかわらず好材料が見られない。[湯沢市]
運輸業	軽油価格が前年同月に比べ18円50銭/ℓ上昇し、採算は悪化している。